

助 - 22

が (主語)

N1	が	N2 です A です AN です V ます
----	---	--------------------------------

基 本

例 文

- ① 4月に桜の花が咲きます。
がつ さくら はな さ
- ② 冬に雪がたくさん降ります。
ふゆ ゆき ふ
- ③ わたしの部屋に電話があります。
へや でんわ
- ④ グラウンドで生徒がサッカーの練習をしています。
せいと れんしゅう
- ⑤ あしたヤンさんが日本語でスピーチをします。
にほんご
- ⑥ A: パーティーにだれが来ますか。
き
 B: 小林さんと小林さんの友だちが来ます。
こばやし こばやし とも き
- ⑦ A: どの科目がおもしろいですか。
か もく
 B: 社会と数学がおもしろいです。
しゃかい すうがく
- ⑧ A: どの人が田中さんですか。
ひと たなか
 B: 木村さんのとなりの人です。
きむら ひと

解 説

- A. 「が」は、N1 が文の主語であることを示す。(例文①～⑧)
ぶん しゅご しめ
- B. 動作や存在、状態などの主体を示す。(例文①～⑧)
どうさ そんざい じょうたい しゅたい しめ
- C. 現象や、できごと、状態を述べるときに使う。(例文①②③④⑤)
げんしょう じょうたい の つか
- D. 主語の部分が疑問詞になったとき、その答えに使う。(例文⑥⑦⑧)
しゅご ぶぶん ぎもんし こた つか

先生へ

「が」は助詞。

主語に当たる部分が対比される場合と主題になる場合は「が」ではなく、「は」を使う。

聞き手がまだ知らないと話し手が思っている情報を述べるときに使う。

例 A: あした田中さんが来ます。

B: そうですか。

【関連項目】

助-16 が（接続）

【「れんしゅう編」の練習】

8-5 アルバイト

8-6 もしもし

8-7 日本の学校制度